

大型クラゲの故郷を訪ねてみたい

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 秋山, 秀樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2008562

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



水は巡る

— 大型クラゲの故郷を訪ねてみたい —

東シナ海海洋環境部長 秋山 秀樹

先日、長崎への帰路、JR 博多駅から特急「かもめ・ハウステンボス・みどり」号に乗車しました。これは、「長崎・ハウステンボス・佐世保」というそれぞれ終着駅が異なる列車を連結した特急です。JR 博多駅を出発後、鹿児島本線を通り、JR 鳥栖駅で進路を西に変え、長崎本線へと進みます。JR 肥前山口駅では、かもめ号とハウステンボス・みどり号が切り離され、かもめ号は長崎本線、ハウステンボス・みどり号は佐世保線へと進路を変えます。さらに、ハウステンボス号とみどり号は JR 早岐駅で分岐します。そして、それぞれの終着駅を目指して旅客を運びます。皆さん、よくご存じの特急です。これは、正しく今の時代の先端を行く効率的な運行方式であると私は感じました。

車窓から遠くの景色を眺めながら、ふと思いを巡らせたことがあります。この方式は、東シナ海における物質の輸送過程（図1）によく似ているなあ、と！

九州沿岸域では亜熱帯系の魚介類や大型クラゲ、有害赤潮、海ゴミ等が東シナ海の遠方からやって来ます。春から夏にかけてやって来るもの、冬に集中的にやって来るもの、等々いろいろです。東シナ海の流れに乗って運ばれる物質（旅客）は季節によっても、また年によっても変動しています。私たち九州沿岸域（到着駅）の住民にとっては、なかなか予想が着かないのが現状で、いつもハラハラドキドキしています。大型クラゲを例にとれば、いつ頃、どこから出発して、どのくらいの量がやって来るのか事前に知りたいものです。（来ないことが一番ありがたいのですが…）

このような場合、輸送される大型クラゲの移動経路を調べるため、私たちは「漂流ブイ」という標識（切符）を海に投入して、大型クラゲが移動した軌跡（履歴）を推定します。漂流ブイの位置情報は人工衛星経由で、定期的に私たちの手元に届きます。この漂流ブイの軌跡を逆に辿れば、大型クラゲの発生源（出発駅）がわかるかも知れません。ただし、漂流ブイは季節風や台風等の強風が吹けば、風に引きずられて、本来の移動経路からずれることがあります。このような不確からしさを取り除くためには漂流ブイを沢山投入する必要がありますが、漂流ブイは高価な物で、そう沢山投入することはできません。皆様、もし洋上で漂流ブイを見つけたら、やさしく、そっと見守ってやって下さい。また、もし海岸付近に漂着したブイを見つけたら、確保して、そのブイの担当機関へ連絡して

あげてください。皆様のご協力が実を結ぶように、私たち研究者は努力して参ります。

とにかく、九州沿岸域（到着駅）にいる私たちとしては、どうしても大型クラゲの発生源（出発駅）を突き止めたいのです。また、できることなら、調査船に乗って大型クラゲの故郷を訪ねてみたいと思っています。どのような海洋環境の世界に住んでいて、どのような生活をしているのかを是非知りたいものです。

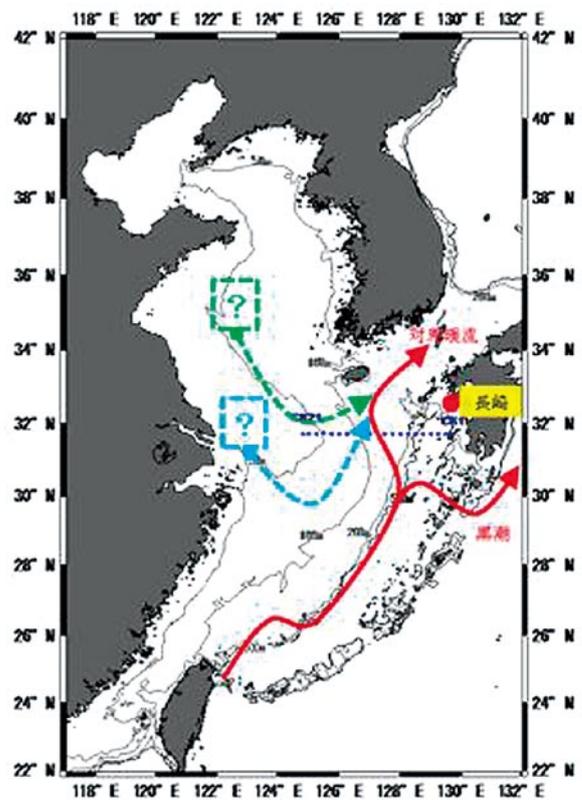


図1 東シナ海の卓越流と推定輸送経路

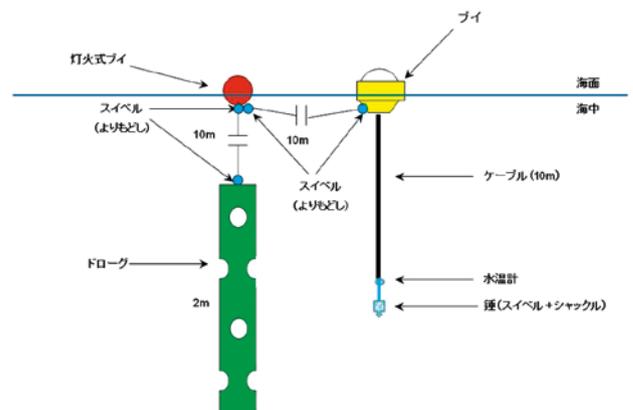


図2 漂流ブイ（水温計付）の模式図